

5. 施設関連

5.1. 施設一般

5 施設

1 施設一般

提言 5-1

フリースペースの増設

学生の意見

- 講義室以外に学生が気軽に利用できるフリースペースを増やしてほしい。
- リフレッシュルームの開放時間を延長してほしい。
- 深夜でも利用できる自習室がほしい。

(同意見 13)

現状分析

現在フリースペースやリフレッシュルームは主に専攻の管轄となっており、その開放時間は専攻によって異なります。また、学生が課外活動の際にミーティングを開くための部屋はなく、講義室を予約するかフリースペース・リフレッシュルームを利用するしかありません。前者については、当然ながら日中は講義が行われていることが多いことに加え、使用の3日前までに申請書を提出する必要があり、気軽にいつでも利用できるわけではありません。また後者は食事や学習のための利用があるため、いわゆる「早いもの勝ち」の状況が生まれています。最近では、図書館の2階がグループ学習可能なスペースとなりましたが、学習以外の利用は原則として認められていません。また百年記念館もラーニングスペース・情報発信の場としてのリニューアルが予定されています。

他大学と比較してみると、東京大学では集会のための部屋としてホワイトボードとプロジェクターが完備された2つのディスカッションルームを学生支援センターが管理しており9時～20時ならば予約して利用ができます。東京理科大学では、自習室とは別に、各キャンパスに談話スペース・ラウンジが設置されています。

これらの意見を踏まえ、教務課及び学生支援課とキャンパスミーティングを実施し、以下のような質問を行ない、回答を頂きました。

Q1. 近年、増設されたフリースペース、もしくは増設予定のフリースペースはあるでしょうか。

A1. 図書館の2階を改修しグループワークで利用できるようになり、現在改修中の百年記念館は勉強ができるスペースの設置を検討予定です。大岡山に関してはこれ以上建物を増設することが難しい状況です。すずかけ台については図書館分館の3階をグループ学習ができるスペースにすることを検討しています。※2015年2月試行開始となりました。（学生支援課）

以上から、今すぐにフリースペースを増加するというのは大学の面積的に難しいようです。また設置するスペースがないこと以外に、そのフリースペースが本来の使用目的以外で使われてしまうようなことがないように管理することもフリースペース増設の課題になっているようです。

以前の調査との比較

学勢調査 2012 では「4.2.1 リフレッシュルームの開放」で学生が自由に利用できるスペースの開放が提言されています。それに伴って、学生のニーズを知るための大学・学生間の相互の意見交換の場も提言されています。また学生のフリースペースの使用態度向上の一環として学生による自主的な運営を行う場を設置することも提言されています。

提言

学生がグループ学習や課外活動を行う上でフリースペースは必要不可欠なものです。また、研究室に所属しておらず、大学に「自分の場所」が確保できてない学部生の休憩スペース・憩いの場としてもフリースペースは重要です。

そこで、現在あるリフレッシュルームやフリースペース全ての開放時間の延長を試験的に実施することを提言します。さらに、その時間利用できるが使用されていない講義室を学生がリアルタイムで知れるようなシステムを作ることを提言します。

これにより、フリースペース・リフレッシュルームの数を新たに増設しなくとも、学生のニーズに応えることができると考えます。

学生の意見

- 仮眠できるスペースがほしい。
- 24 時間利用可能な仮眠室があればぜひ利用したい。

現状分析

今回の学勢調査での「充実してほしい施設は？」という設問において、11 人が仮眠室と回答しており、これは礼拝所(20 人)に次いで 2 番目に多い人数です。

大学の方針としては学生の宿泊を認めておらず、宿泊する必要のないカリキュラムとなっています。しかし宿泊の必要はなくとも、課題や課外活動等で睡眠時間が十分でない学生もいると考えられます。実際に、厚生労働省が目安とする睡眠時間は 6～8 時間ですが、睡眠時間が 6 時間未満と答えた学生は 30～40%で、睡眠時間が不足している学生がいることがわかります。このような学生が講義・研究に効率よく取り組むためにも、仮眠室の設置が必要であると考えます。

これらの意見を踏まえ、学生支援課とキャンパスミーティングを実施し、以下のような質問を行ない、回答を頂きました。

Q1. 現在東工大内に仮眠室はあるのでしょうか。

A1. ありません。

Q2. 大学に泊まっていけない理由は为什么呢。

A2. 大学は宿泊施設ではないためです。

以前の調査との比較

仮眠室についての提言は前回もありましたが、設置されていません。

提言

睡眠は人間が生活するうえで欠かせないものであり、睡眠不足は作業の非効率化につながります。大学として宿泊を必要とするようなカリキュラム設計はしていないというお話もあり、宿泊して睡眠をとるための仮眠室を新設する必要性はないと考えられます。しかしながら、日中に仮眠や昼寝などができるようなスペースは、作業の効率化の観点から必要であると考えます。そこで、10～22 時のみ利用できる仮眠可能なフリースペースを設ける、もしくは現在のある特定のフリースペースのルールとして仮眠可能とすることを提言します。

また、それにとまって机の上でも快適に仮眠がとれるような枕を生協で販売することも提言します。

5 施設

提言 5-3

飲食施設の充実

1 施設一般

学生の意見

- 石川台に食事を買うところがない。 (同意見 2 件)
- すずかけ台キャンパスに飲食店を増やして欲しい。 (同意見 6 件)

現状分析

現在、大岡山には生協食堂やセブンイレブンなど 3 つの飲食店があり、また昼になると弁当が販売されています。しかし、石川台キャンパスでは弁当がお昼に販売されるのみという現状です。すずかけ台には、生協と食堂があるのみです。

すずかけ台では大岡山のようにキャンパスの周りに飲食店が豊富にあるわけではないため、休日などで食堂や生協が営業していない時は非常に不便のようです。

これらの意見を踏まえ、生協とキャンパスミーティングを実施し、以下のような質問を行ない、回答を頂きました。

Q1. すずかけ台の飲食施設について、現状を教えてください。

A1. 最近、生命系の研究室の移動や自炊率の増加によりすずかけ台の生協利用が大きく減りました。そのため、この状況で日曜営業や営業時間の延長をしても採算が取れない。また、シダックスがなくなってから、次の店が決まるまでは、お弁当を販売することになりました。

Q2. 図 5.1.1 のオフィスグリコのように、研究室ごとにお菓子や軽食を置いて各自が食べるときにお金を払うシステムを導入することはできないのでしょうか。

A2. 24時間研究している東工大のニーズにはあっているので、システム

や仲介者など責任者をしっかり決めて、大学側の許可が下りれば実現の方向で検討したいと思います。

以前の調査との比較

学勢調査 2012 では、「8.2.5 すずかけ台の食堂・購買の拡充について」の項目で類似した提言がなされています。

提言

食事は研究・学習を行なうに当たって、必要不可欠なものです。飲食施設を充実させることが、快適な研究・学習環境への第一歩であると思われます。特に石川台やすずかけ台キャンパスは研究室が集まっており、研究施設の側面が大きいので、その重要性も高いです。

石川台及びすずかけ台への飲食店の誘致と研究室へのオフィスグリコシステム(あらかじめ棚に入っている食品をとる際にお金を払う形式のもの)の導入を提言します。



図 5.1.1. オフィスグリコの例

学生の意見

- 学内無線 LAN がつながりにくい（本館:34 人 西 3 号館:25 人 南 5 号館:18 人）
- プロキシ設定がわからない(19 人)
- スマートフォンをつなぐことができない(31 人)

現状分析

図 5.1.2 のように、現在学内のほとんどのところで無線 LAN(titech-pubnet)が利用できるようになっています。しかし、その中には建物の位置関係などの原因によりつながりにくい場所もあるため、改善の声が学生からは挙がっています。また、地上に近い階では繋がっていても高い階ではつながらないという問題もあり、立体的にもケアする必要があると考えます。

また、アクセスエリアの拡張を希望する場合には、その建物あるいは部屋を管理している組織(学科・専攻・事務組織等)に相談することになっていますが、公共エリアや講義室および管理組織が不明な場所での拡張を希望する場合には学生支援課に要望を伝えることになっています。

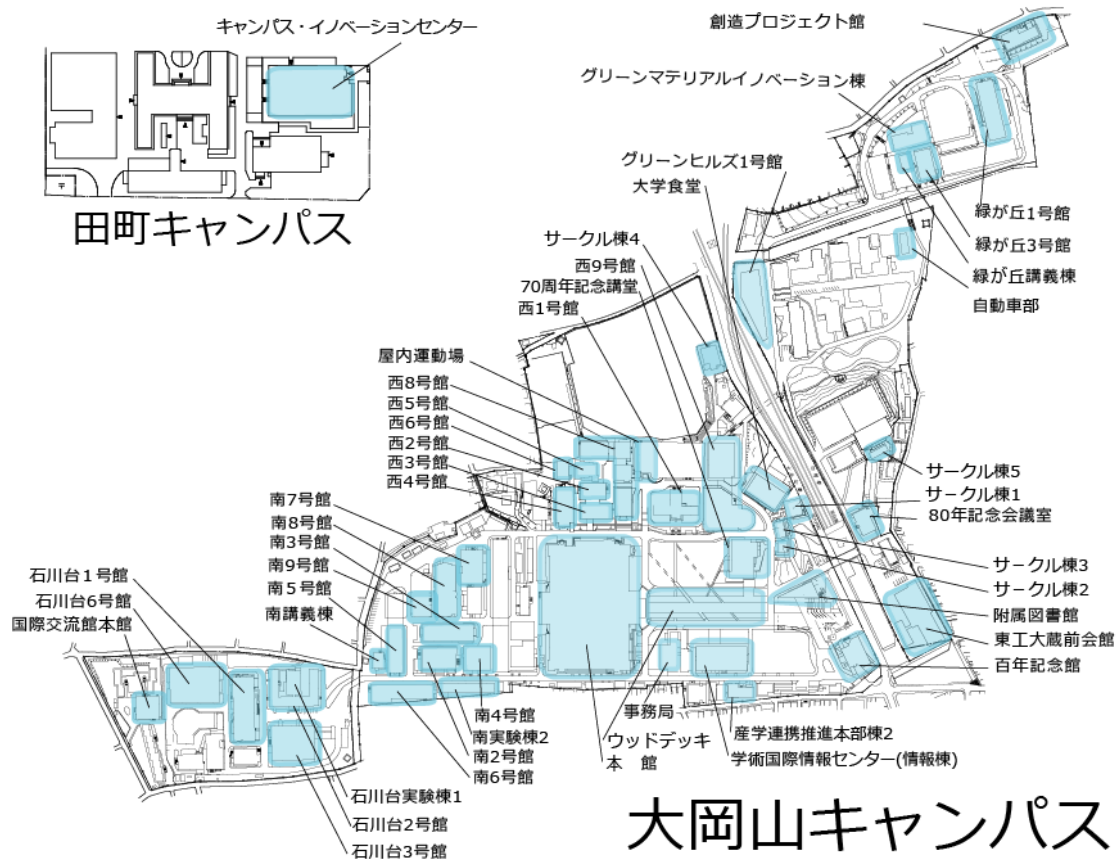


図 5.1.2 大岡山キャンパスにおける無線 LAN の設置状況

以前の調査との比較

学勢調査 2012 では、「4.12.1 無線 LAN、携帯電話の電波について」で、無線 LAN についてサポート体制の改善を提言しています。具体的には無線 LAN の管轄の一元化および、次回システムを切り替える際のプロキシ設定の取り外しを提言しています。

この提言に沿って、プロキシ設定を必要としない次期キャンパス無線 LAN 新サービス(TokyoTech)のテスト運用が2015年4月10日から始まりました。詳細は下記サイトに掲載されています。

※<http://www.noc.titech.ac.jp/info/news/150409.shtml>

提言

本館や西3号館といった比較的大きくかつ多くの学生が利用するところにもかかわらず、無線 LAN がつながらないというのは生活面でも学習面でも非常に不便であるので改善を図るためにも、アクセスポイントの増設を提言します。

また、ニーズに合わせたアクセスポイントの増設をするためにも、つながりくい状況の報告を学生がしやすくするような取組が必要です。学内に「繋がらない時は…→URL」のような広告や titech-pubnet に接続する際の WEB ページに『不具合を報告する用のページ』を設けることを提言します。

さらに、プロキシ設定やスマートフォンへの接続設定 WEB ページの URL を講義室などの目に触れる場所に掲示することも提言します。

そして、次期キャンパス無線 LAN 新サービス TokyoTech のテスト運用を経て、早期に正式のサービスを提供することを提言します。

学生の意見

- 大岡山には書店がないのですがどう考えても本学の学生は書店を他の人より利用すると思われるので学内に書店をいれることを検討すべきだと思います。
- 書籍売場を充実させて欲しい。

現状分析

現在、キャンパス内で本を購入できるのは生協のみとなっています。生協では、現在書籍の取り寄せが利用できますが、実際に書籍が置かれているスペースは一般の書店に比べて小さいため、前述のような意見が出ていると考えられます。また、**図 5. 1. 3** からわかるように、大学の付近に大型(チェーン)の書店がないため、大岡山を活動拠点とする学生にとって不便であると言えます。



図 5. 1. 3 大岡山キャンパス周辺の地図

これらの意見を踏まえ、生協とキャンパスミーティングを実施し、以下のような質問を行ない、回答を頂きました。

Q1. 季の味ガーデンの場所は来年以降どうなる予定でしょうか。そのスペースに書店を誘致することはできますでしょうか。

A1. 大学から正式に話が来れば、実現の方向で検討します。ただし、建物自体が耐震関係の工事なども今後予定されているようなのでなかなか難しいのではないかと思います。

Q2. 書店について、生協に置く本のセレクトはどうかされていますでしょうか。

A2. 理工系の本については、毎日のように新刊を入荷しています。書籍部も新商品をチェックしていて、スペースのやりくりが大変な現状があります。

以前の調査との比較

以前の学勢調査では書店の誘致に関して単独の提言はなく、「大岡山の購買の充実」という提言で同様の内容が触れられています。

提言

書籍は学問を深める上で不可欠なものです。大学の周りに書店が充実していないからこそ、学内での書籍の充実が求められています。そこでお菓子・食品を食堂に一部移動させそのスペースを縮小し、試験的に生協の書籍スペースを拡大することを提言します。また拡大する書籍の分野としては、図書館であまり取り扱っていないような小説や雑誌の類を提案します。

学生の意見

- 駐輪場は屋根付きの物を増やしてほしい。 (同意見 4 件)
- 駐輪場の数をもっと増やしてほしい。 (同意見 2 件)

現状分析

駐輪スペースは十分かという質問では、**図 5. 1. 4**にあるように、不十分である(1,2)と回答した人は 544 人(30.3%)であり、十分である(4,5)と回答した人よりも多いです。

現在の自転車の収容数は大岡山:2000 台、すずかけ:500 台となっており、登録者に対しては、足りていると言えます。しかしながら、未登録の自転車が多いため、本来優先して使えるべき登録者が使えないという構造になっていると考えられます。

また、学生の出入りが激しい図書館やサークル棟付近に駐輪スペースがないという実情があり、不便である・増設してほしいといった声が寄せられています。

駐輪スペースは十分さ

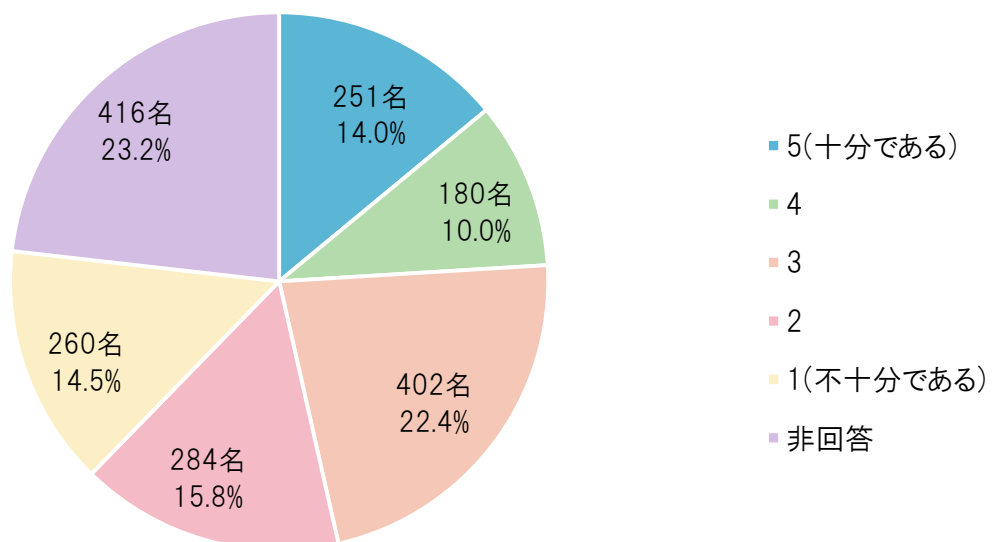


図 5. 1. 4. 駐輪スペースの十分さ

これらの意見を踏まえ、施設安全室および教務課とキャンパスミーティングを実施し、以下のような質問を行ない、回答を頂きました。

Q1. 駐輪場の増設や屋根の設置は可能でしょうか。

A1. 予算的に難しいところです。また屋根付きの駐輪場を作るとそこに自転車が集中するおそれがあります。(安全企画室)

Q2. 駐輪場が不足しているという問題についてどのようにお考えですか。

A2. こちらとしても不足を感じます(安全企画室)。

Q3. 登録システムを簡単にすることはできないのでしょうか。

A3. 以前の紙ベースでの申請と比べて教務 Web での申請を行えるように変更し簡略化されていると思います。防犯登録証を確認したうえで手続きを行っている関係で、これ以上簡略化することはなかなか難しいと考えています。(教務課)

Q4. シールはもっと目立たないものにできないのでしょうか。

A4. なるべく目立たないように、従来から変更しており、工夫をしています。必要な項目は記載し、確認時認識しやすいようにしなければならない等の制約はありますが、どのようなデザインにしたらいいかアイデアがあれば提案して頂きたいと考えます。(教務課)

駐輪スペースに不満をもつ人は一定数いるため、増設または移動は必要であると考えられますが、スペースや予算の都合上いきなりの実施は難しいと考えられます。

以前の調査との比較

学勢調査 2012「4.5.1 駐輪場について」で同様の提言をしていますが、登録数に見合っており、学内移動は徒歩を推奨するという理由で改善は見られていません。

提言

学生に駐輪スペースがどこに欲しいのか、どこにいらないのかを調査し、駐輪場の移設の改革を図ることを提言します。また、屋根付きの駐輪場を増やすのは現状困難であるため、生協にて自転車カバーを販売することを提言します。

学生の意見

- Tokyo Tech had better provide a prayer room in Suzukakedai and Ookayama Campus.
- I hope titech will open a mosque so that many moslem can pray more comfortably.

(同意見26件)

現状分析

イスラム教の学生は一日に 5～6 回、顔と手足を水で洗います。イスラム教を信仰する学生の言及する「礼拝所」とは、そのようなことができる施設です。これは、シャワー室で代用できると考えられます。

今回の学勢調査の施設に関連する質問において、顕著にみられたのが「礼拝所の設置」です。学勢調査において宗教を問う設問があったわけではないので、イスラム教徒の学生の正確な人数を知ることはできません。しかし、大学からの発表によればイスラム教を国教とするインドネシアとマレーシアの学生の人数は現在合わせて 134 人(2014 年)であり、少なくとも 100 人のイスラム教徒がいると見積もることができます。また、これからの教育改革に伴い留学生数も増加すると考えられ、礼拝所のニーズは高まると予想できます。

今後、教育改革による国際化に伴い、本学内にイスラム教を信仰する学生が在籍することで、今回のような要望が増えてくると考えられます。

以前の調査との比較

なし

提言

イスラム教を信仰する学生の数は今後グローバル化に伴って増加していくと考えられます。現在でも、その数に見合っていないようであるので、トイレ内に(シャワー室のような)顔と手足が洗える礼拝所の設置を提言します。また、慣習的に礼拝のために使用している場所を知らない学生のために、入学時の説明や広報の徹底を提言します。

また、イスラム教に偏った施設整備とならないよう、大学は学生が信仰する宗教を定期的に調査し、人数に応じた施設の見直しをすることを提言します。

学生の意見

大学や講義室における開放時間の延長に関する意見が合計 10 件寄せられました。

- 講義室の開放時間の延長をしてほしい。
- 大学の開放時間の延長をしてほしい。

現状分析

本学の講義室は、20 時以降は基本的に施錠されてしまいます。そのため、20 時以降の使用はできないことになっています。リフレッシュルームや自習スペースが増加すれば、講義室の代わりとしても使えるようになるので、このような意見は減少すると考えられます。授業時間外に、1 年生の使用できる部屋がないことも問題としてあがっています。

このような現状を踏まえ、教務課とキャンパスミーティングを実施し、3 点の質問に回答していただきました。

Q1. 夜間の講義室の利用は可能ですか。

A1. 防犯や省エネの観点から難しいが、公認サークルから申請があれば延長は可能なシステムになっています。

Q2. 夜間勉強する場所がないので、講義室の利用時間の延長は可能ですか。

A2. 図書館やリフレッシュルームの利用をお願いします。

Q3. 非公認サークルに対して施設の利用を認めることはできますか。

A3. 基本的に認めることは難しいです。

以前の調査との比較

前回の学勢調査では、夜間の講義室利用に関して、「専攻ごとに必要な対策が異なり、画一的な改善は難しく、すべての教室を夜間開放することは厳しいと考えられますが、文系科目で使用される大きい教室など一部だけでも改善」することをお願いしています。また、講義室の時間延長に関しては、「防犯や責任上難しく、守衛巡回が 20 時であるため、20 時に施錠されますが、守衛の施錠時間の変更は検討可能だ」ということ回答を前回のキャンパスミーティングで受けています。

提言

公認サークルに対する講義室利用の延長は、今まで通り願い出を出せば可能になる仕組みを続けていただきたいです。また、リフレッシュルームや図書館での勉強スペースが十分に足りるまで、夜間勉強するスペースの 1 つとして、一部の講義室も使うことができるようにすることを提言します。また、サークル活動でなくても願い出を出せば延長できる仕組みにすることも提言します。その際に、図書館のグループ研究室が行っているような、「学生証などを預かるなどして使用者に責任を持ってもらい、部外者が使用することがない」ようなシステムなどの工夫をしていただきたいです。

学生の意見

シャワールームに関する意見が合計 12 件寄せられました。

- トレーニングルームのシャワーを増設してほしい。
- 現在シャワールームがない建物にもシャワールームを作してほしい。

現状分析

トレーニングルームにおけるシャワーに関して、学部 1 年生の体育の授業や生涯スポーツの授業終了後、大変混雑するという意見が出ています。また、一部の建物にはシャワールームがあるのですが、ない建物もあり、不公平だという意見が出ています。また、シャワールームのある専攻の学生にのみ開放されているところもあるという状況です。

学生支援課とキャンパスミーティングを行い、以下のような質疑応答をさせていただきました。

Q1. シャワールームの増設の予定はありますか。

A1. シャワールームはお風呂ではありません。学科によっては必要によって作っているところもあります。なお、来年度から体育の授業が必修ではなくなるので、受講者が減り、授業の際の混雑が減るかもしれません。

Q2. トイレに 1 個だけ簡易的なシャワーを作るのはどうですか。

A2. 安全、防犯の観点から現実的ではないです。

以前の調査との比較

管理状況を含めた現状把握とその情報公開をお願いしています。また、現在設置してあるシャワールームを全学生向けに開放することを提言しています。

提言

シャワーの増設に関しては難しいようですが、2010 年以前から提言されているように需要はあります。そのため、増設が厳しいのならば、学科・専攻のみが使用許可されているシャワーを東工大の職員・学生なら誰でも使えるように開放することを提言します。また、体育の授業が必修ではなくなることによって、トレーニングルームのシャワーの混雑がどの程度緩和されるかを調査し、混雑が続くようであれば、トレーニングルームのシャワー増設の再検討が必要です。

学生の意見

すずかけ台スポーツ施設について、主にテニスコートに対する意見が7件寄せられました。

- すずかけ台キャンパスのテニスコートのナイターで使用したい。
- すずかけ台キャンパスのテニスコートを休日、学部生も使用したい。

現状分析

テニスコートの設備はあるにもかかわらず、学生はナイター使用を禁止されています。また、休日の使用に関しては、すずかけ台キャンパスの研究室所属生に限られているため、学部1年生から3年生の学部生と大岡山キャンパスの研究室所属学生は、使用することができません。

すずかけ台の学務課とのキャンパスミーティングにて5点質問をし、回答していただきました。

Q1. 2012年の学勢調査でのキャンパスミーティングでは「休日について、教職員・研究室学生優先という形で、学部生の利用を可能にしてもいい。」とあるのですが、変更されていないのはなぜですか。

A1. 安全管理上、教職員なしでの利用はできないようになっています。学生のみの場合、事故が起こった際の責任問題につながってしまいます。実際に、蜂に刺された学生がいたり、フットサルで対人事故があったりしています。

Q2. ナイター施設について、開放されていないのはなぜですか。

A2. ナイター照明の器具管理もあり、以前無許可で使用されていたことがあります。また、フットサル施設については、フットサルコートの移設が2年前に行われ、現在のナイター使用率は半分以上となっています。

Q3. 使用者のマナーが悪いことに関しては、取り締まりの強化をなされていると思いますが、その効果はどうですか。

A3. ゴミを捨てたかなどのチェック表を使用後、提出させていますが、一部の使用者の利用の仕方が悪く、ゴミや使い古しのボールをよく置いて帰ってしまっています。随時、見回りはしています。

5. 施設関連

Q4. 数ヶ月、試験的にナイター使用の復活などを行う予定はありますか。

A4. ナイター施設はマナーが悪いためではなく、管理体制・責任者の問題があるため、学生のみでの使用は難しいです。ナイター施設は教職員がその場にいれば、使用することができます。

Q5. 2010年の提言にあるように、インターネット上の予約に関してはどうなっていますか。

A5. 引き続き調整を行っています。しかし、インターネットだと窓口のように顔が見えないので、利用者の確認ができないという問題があります。また、大岡山の窓口ですずかけ台のグラウンドの予約をできるようにするためには、大岡山の学生支援課で体制を構築する必要があります。

このように、テニスコートの使用には管理体制・責任上の問題が大きく関わってきています。

以前の調査との比較

同様の意見が2010年にも提言されています。平日のナイター施設の利用に関しては、教職員・研究室所属生優先の上で、学部生の使用を提言しています。予約システムに関してすずかけ台の窓口まで行かなくてもインターネット上で行えるように検討をお願いしています。また、スポーツ施設利用に関する一般的なマナーやルールを必ず守るよう学生側にも提言しています。

提言

フットサル施設のナイター使用が半分以上であることから、テニスコートのナイター使用も十分需要があると考えられます。フットサルコート同様、テニスコートのナイター利用も可能にすることを提言します。ナイター利用や休日利用における責任に関しては、現在夜間や休日を使用することができるフットサルコート使用の場合と同様に扱うことができると考えられます。管理上の問題も、フットサルコートと同じように管理することができれば、テニスコートのナイター使用の再開することができるので、実現へ向けて検討をお願いします。

学生のマナーの悪さについては、これからも取り締まり、必ず予約をし、使用後はごみをすべて持ち帰ることの徹底をお願いします。学生側には、マナーを守り使用し、ルールを厳守することを提言します。

インターネット上の予約に関しては、引き続き検討をお願いします。利用者の確認については、学生証とPINコードが必要というようなシステムにし、学生証のマトリックスコードの使用を組み込み、学内の人しか使えないような工夫していただきたいです。

学生の意見

コンビニの営業日や営業時間に関する意見が合計 35 件寄せられました。

- 土日・祝日・長期休暇の開店日を増やしてほしい。
- セブンイレブン以外に、他のコンビニを作る。

現状分析

東工大セブンイレブンの土曜日の営業時間は短く、日曜日は終日閉店しています。長期休み期間中も終日閉店していることが多いです。特に、9 月は一カ月全部休みの場合もあるという状況です。学部生のスケジュールにはあっているかもしれませんが、研究室所属している学生(特に石川台地区や南地区で研究をしている学生)にとっては不便です。また、今回は時間の問題というより、終日開いていない日が多いという意見が目立ちました。東京大学では、ローソンが 5 店舗入っており、そのうち 4 店舗は 24 時間営業となっています。

学生支援課とのキャンパスミーティングにて、3 点質問し、回答していただきました。

Q1. 学内の唯一のコンビニであるセブンイレブンの営業利益はどのようになっていますか。

A1. 以前と比べて営業利益は変わっていません。学部生の休み期間中の営業は厳しいです。また、学内のコンビニであるため、学外者はほとんど利用しないという問題もあります。

Q2. 営業日を増やすのは可能ですか。

A2. 営業時間の延長は、以前試験的に 23 時まで行ったことがあります。22 時から 23 時は来店者がごく僅かという結果でした。そのため、営業日を増やすのも難しいと思います。

Q3. セブンイレブンが現在の南地区になったのはなぜですか。

A3. 南 4 号館の建て替えの際に、設置しました。

以前の調査との比較

営業利益上の関係で、営業時間を増やすことは難しいとなっています。また、コンビニの増設に関しては、今のセブンイレブンでさえ、営業時間の短縮が行われている状況なので、新しいコンビニを作ることは難しいです。営業時間の拡大がどうしても難しいということであれば業者の再選定も見据えた検討も必要です。

提言

大岡山南地区のセブンイレブンの営業日の見直しを提言します。営業時間の拡大は利益と見合わないということでしたが、試験的に行ったのが一般営業の平日の夜であったことが原因である可能性があります。閉店時間の早い土曜日や終日閉店している日曜日、長期休みに行ってみることも検討していただきたいです。このような時間帯ならば、東工大生のみならず、一般の方も利用しやすく、利用者数は増える可能性があります。今回の学勢調査では、営業日の増加の要望が大きいため、この点での見直しを希望します。日曜日ならば、研究室所属学生による利用の影響も見ることができるので、試験的に日曜日の営業の検討をお願いします。2012 年の提言に引き続き、セブンイレブンの利益上の問題に関しては、セブンイレブンよりコストが抑えられる他の業者の選定の検討をお願いします。

学生の意見

トレーニングセンターやテニスコートに関する意見が合計 14 件寄せられました。

- 大岡山のテニスコートの開放をしてほしい。(同意見 5 件)
- 体育館の通気性が悪い。(同意見 4 件)
- トレーニングセンターにある器具を修理してほしい。(同意見 3 件)
- トレーニングセンターの開放時間の延長をしてほしい。(同意見 2 件)

現状分析

トレーニングセンターの開放時間の延長は前回から提言されていますが、改善されておられません。また、壊れている器具がそのまま、修理されていないという意見があり、そのような実情があると考えられます。体育館の通気性は悪く、特に夏場はとて湿度が高くなっています。大岡山のテニスコートに関しては、一般学生の使用可能期間が夏休みの 1 週間のみとなっています。現在のトレーニングルームの開放時間は、平日:10 時から 17 時 45 分、土曜日:10 時から 14 時 45 分までとなっています。図 5. 1. 5 からわかるように、大岡山トレーニングルームを使用している人の割合は、今回の調査の結果によると、調査回答者 1793 人中 534 人と 3 割を占めています。

使用したことのあるスポーツ設備

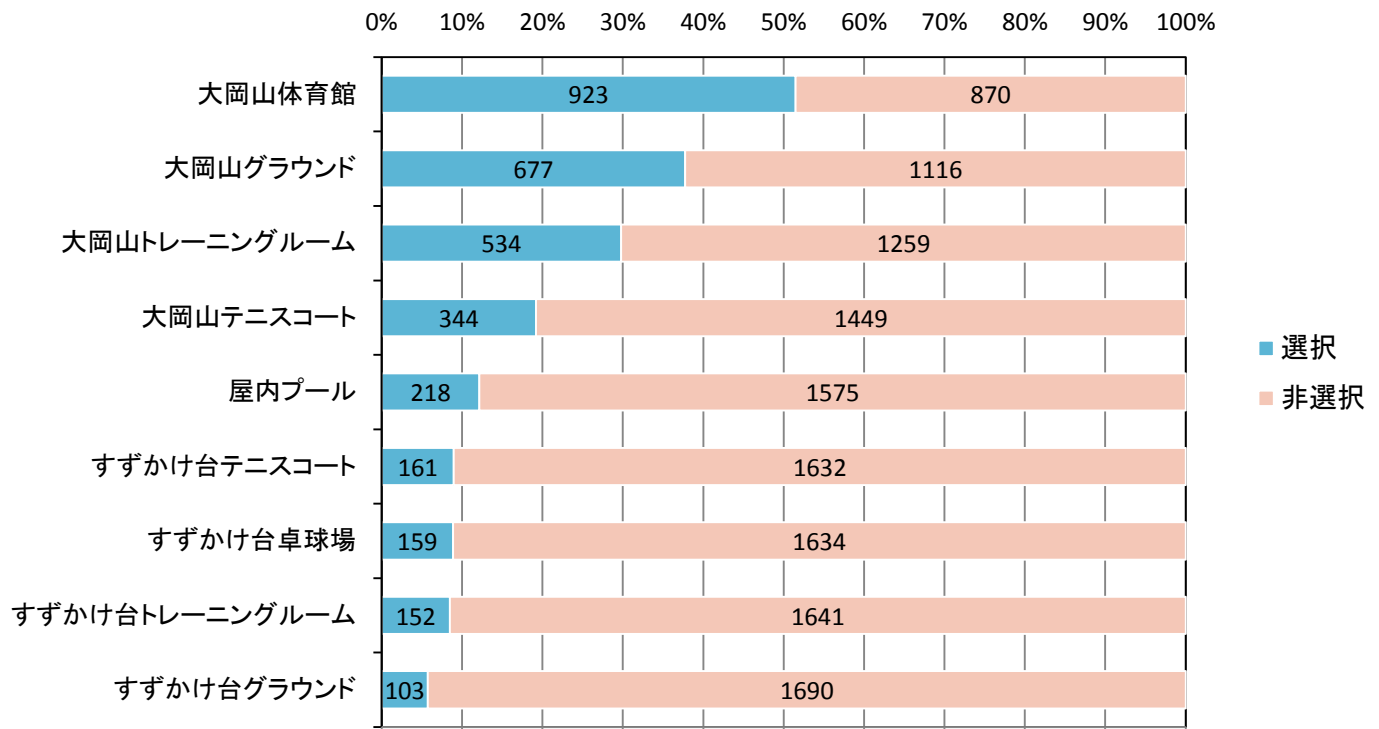


図 5. 1. 5 使用したことのあるスポーツ設備

学生支援課とのキャンパスミーティングにて3点質問をし、回答していただきました。

Q1. 2012年の提言を受けて、実際変更された点はありますか。

A1. 開放時間の延長に関しては、人件費・安全面の点で問題があるので、変更していません。故障しているトレーニング器具に関しては、最近はすぐに修理しています。ただし、中には特注品もあるので、1週間かかることもあります。

Q2. 体育館アリーナの湿度が高いので、通気性を良くしてほしいのですが、可能ですか。

A2. 体育館アリーナにエアコンをつけることはできません。扇風機は置いてあるので、使うことはできます。

Q3. 大岡山のテニスコートの開放について、一般学生が使うことができる機会が少ないのはなぜですか。

A3. テニスコートは、基本的に授業・サークルが優先して利用するためです。夏休みには一般の学生に開放しています。

以前の調査との比較

前回の学勢調査では、「トレーニングセンターの開放時間の延長に関しては、周辺住民や節電への配慮のため難しいです。トレーニングセンターにある壊れた器具に関しては早急に直す必要があり、学生だけでなく、大学側からも積極的な現状把握に努めていただきたいです。大岡山のテニスコートに関して、テニスコートは大学の所有物なので、大学関係者には開放されるべきです。」と報告されています。参考として、東京大学では、学内者は無料(学外者は有料)で、事前予約をすれば使えるという施設もあります。

提言

トレーニングセンターの器具の故障は早急に修理していただき、引き続きなるべく早い対応を続けていただきたいです。トレーニングセンターの開放時間の延長に関しては、試験的に実施することを提言します。延長時間帯における学生の利用率と人件費を考慮して、通常的に延長するかどうか判断していただくことを希望します。

大岡山のテニスコートに関しては、夏休みに限られた開放であり、その期間も短いので、夏休み以外の休日、長期休みなどコートが空いている時間の開放を提言します。また、夏休みの開放期間の拡大の検討もしていただきたいです。開放期間を拡大する場合は、マナー上の問題もあるのでルールを作った上での開放を提言します。

学生の意見

喫煙スペースに関する意見が自由記述に 30 件寄せられました。内訳は以下のようになっており、喫煙者、非喫煙者の両者の意見が寄せられました。

- 喫煙所の隔離をしてほしい。 (同意見 16 件)
- 喫煙所の撤去をしてほしい。 (同意見 5 件)
- 喫煙所が撤去されすぎている。 (同意見 9 件)

現状分析

学勢調査実施時点では、緑が丘地区のエントランスに喫煙スペースがあったため、このスペースの移動をしてほしいという意見が多かったですが、現在では建物の裏に移動されています。しかし、他の地区でも、人通りが多いところに喫煙スペースがまだ見受けられます。全面禁煙にする方向性もあるようですが、撤去されすぎという意見もあり、分煙をしっかりとしてほしいという意見が今回は強くなっています。喫煙所の重要性に関しては、一般人の 20 代の喫煙者率を見ると「男性は 29%、女性は 10% (JT 全国喫煙者率調査)」、東工大生の喫煙者率は「男性は 6.7%、女性は 0.8% (2014 年 4 月学内調査)」となっており、喫煙者の意見も軽視できない割合となっています。

そこで、安全企画室へのキャンパスミーティングで喫煙スペースについて 3 点の質問を行い、回答していただきました。

Q1. 現状では、全面禁煙する方向性なのでしょうか。それとも一部禁煙する方向性なのですか。

A1. 全面禁煙にする予定はありません。喫煙スペースの場所に関しては、各エリアの安全衛生委員会の協議により決められています。ただ、今後、喫煙スペースが増えることはおそくないでしょう。

Q2. 喫煙所が撤去されつつありますが、その撤去基準は何ですか。

A2. 安全衛生委員会の協議によって決められるので、クレームが来た場合は安全衛生委員会に連絡します。また、内科の学校医の先生が学校を回って受動喫煙が起こりにくいように喫煙スペースを確認しています。

Q3. 喫煙スペースに関する、学生からの意見はどのようにして伝えればいいですか。

A3. 各建物の安全衛生委員会に直接伝えてください。もしくは、教務課か支援課のいずれかに伝えてくだされば、各建物の安全衛生委員会に伝えます。

このように、喫煙スペースに関して、学生が意見を言える手段はあることが、安全企画室へのキャンパスミーティングによって明らかになりました。しかし、喫煙スペースの撤去やより良い場所への移動を希望していても、どこに伝えればいいのか知っている人は少ないのが現状です。

以前の調査との比較

喫煙に関する提言として、マナーの問題や将来的に全面禁煙にする可能性もあるということが報告されていました。また、喫煙スペースについては言及されていませんでした。2012年の学勢調査では、東工大の外部の喫煙者のマナーが悪いという意見が多くありましたが、今回そのような意見はありませんでした。

提言

喫煙者も非喫煙者も心地よく過ごせるように、受動喫煙が起りにくいような喫煙スペースの配置を心がけていくべきです。そのため、内科医の先生に学校内を回っていただき、確認していただくことは続けていくことは重要です。喫煙スペースの移動をしてほしいと考えていても伝え方がわからない人は多いので、教務課や学生支援課に意見を言えるようなシステムを作することを提言します。

また、各建物の安全衛生委員会は、学生にとってあまり知られていないので、安全衛生性委員会に伝えればよいということを知りやすくすることを提言します。具体的には、喫煙スペースに「喫煙スペースについて変更・撤去などの提案がある方は〇〇まで」というようなポスターを貼ることなどが考えられます。

学生の意見

騒音に関する意見が自由記述欄に 6 件寄せられました。

- 図書館や西 9 号館で、吹奏楽が騒がしく集中できない。

現状分析

西9号館で研究をしている学生や図書館で勉強している学生から、吹奏楽の練習の音が騒がしく、集中できないという意見が学勢調査の自由記述で 6 件出ています。70 周年記念講堂内で練習していることもありますが、多くの場合は外で演奏しているという状況です。楽器の練習の音なので、音楽というより騒がしいと感じている学生がいます。

学生支援課とのキャンパスミーティングにて、音楽練習室に関する質問をし、回答いただきました。

Q1. 現在、音を出しても問題がない練習場所がありますか。

A1. 西 9 号館に音楽練習室があります。ただし、上の階に音漏れはしてしまいます。そのため、上の階でイベントなど行う時は、音楽練習室の使用を制限しています。

Q2. 防音室を作るとしたら、費用はどの程度かかるでしょうか。

A2. 防音室を作ると、相当費用がかかってしまいます。

このような回答を頂き、音漏れを防ぐことができる施設はないということがわかりました。また、音楽練習室は 1 か所にしかなく、普段、西 9 号館や図書館付近で練習している人は、その場所が使えない人だと考えられます。

以前の調査との比較

2012 年の学勢調査では提言されていませんでしたが、2008 年の学勢調査では提言されています。2008 年の時点では、新図書館の建設前で、吹奏楽の音が騒がしいと予想されることに関しては、防音室を作るなどの何らかの対策が必要であると提言しています。

提言

静かな図書館で勉強をしに来ている学生や西 9 号館で研究を行っている学生にとって、騒音により、集中できないことは重要な問題です。防音室を作るのには多大な金額がかかってしまいますが、音楽練習室は足りておらず、屋外で練習している方々があります。多少音漏れしても影響が少ない建物や地域に屋内の音楽練習室を増やすことを提言します。防音室とまではいなくても、屋外で練習を行うよりは、屋内で行った方が騒音の迷惑は減ると考えられます。

また、西 9 号館の音楽練習室がイベント時使用制限されているように、多くの人が図書館を使うテスト期間などは屋外での練習を制限するということを提言します。

5.2. 図書館

5 施設

2 図書館

提言 5-15

閉館時間の延長

学生の意見

開館時間の延長に関する意見が合計 62 件寄せられました。以下の 5 件に集約されます。

- 土日の開館時間を長くしてほしい。
- 土日の開館時間を早くしてほしい。
- 自習スペースだけでも開館時間を長くしてほしい。
- 24 時間利用可能にしてほしい。
- 研究室所属の学生は夏休みも来ているのだから、開館時間を講義日程だけで短縮したりしないでほしい。

(同意見 62 件)

現状分析

本学と他大学の附属図書館の開館時間を比較すると以下のようになります。(通常授業期)

東京工業大学	平日 8:45-21:00 12h15m	休日 11:00-17:00 6h
	平日延長開館 8:45-23:00 14h15m	休日延長開館 9:00-20:00 11h

国内大学の図書館開館時間は以下の通りです。

北海道大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 9:00-19:00 10h
東北大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 10:00-22:00 12h
東京大学	平日 8:30-22:30 14h	休日 9:00-19:00 10h
名古屋大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 8:45-22:00 13h15m
京都大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 10:00-19:00 9h
大阪大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 10:00-19:00 9h
九州大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 10:00-18:00 8h
東京医科歯科大学	平日 8:00-22:00 14h	休日 10:00-18:00 8h
一橋大学	平日 8:40-22:00 13h20m	休日 8:40-17:00 8h20m
東京外国語大学	平日 9:00-21:45 12h45m	休日 13:00-18:45 5h45m
千葉大学	平日 8:30-21:45 13h15m	休日 10:30-18:00 7h30m
横浜国立大学	平日 8:40-21:45 13h5m	休日 9:30-16:30 7h
筑波大学	平日 8:30-24:00 15h30m	休日 9:00-20:00 11h
早稲田大学(理工)	平日 9:00-21:00 12h	土曜 9:00-19:00 10h
慶應義塾大学(理工)	平日 8:45-21:30 12h45m	土曜 8:45-20:00 11h15m
東京理科大学	平日 9:00-22:00 13h	土曜 11:00-19:00 8h

各大学付属図書館の開館時間(平日)

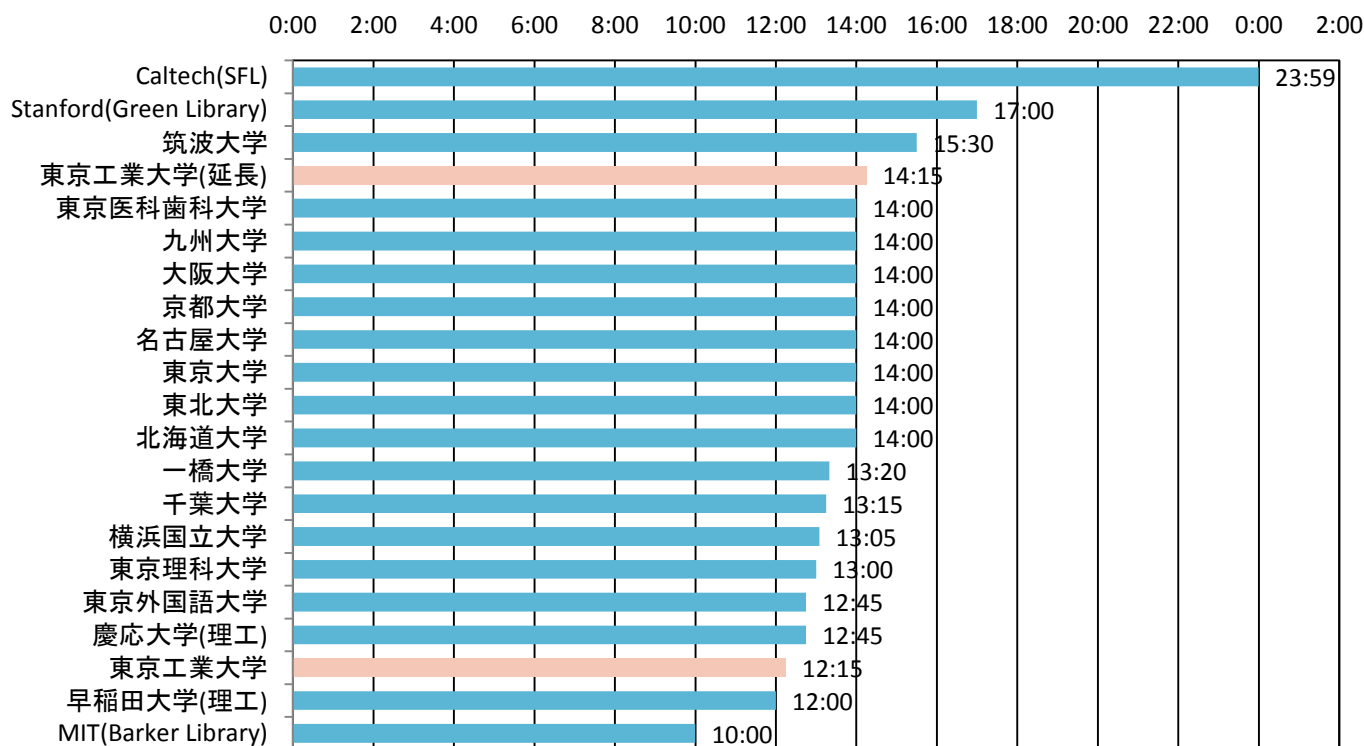


図 5. 2. 1 各大学図書館の開館時間(平日)

一方、海外大学は以下の通りです。

Caltech(SFL)	月一金	0:00-24:00	24h	土日	09:00-24:00	15h
MIT(Barker Library)	平日	9:00-19:00	10h	休日	10:00-18:00	8h

※Barker Library (工学分野専用)の5階フロアは、24時間オープンしています。

Stanford(Green Library)	月一木	08:00-25:00	17h	金	08:00-22:00	14h
	土	10:00-22:00	12h	日	10:00-25:00	15h

図 5. 2. 1 と図 5. 2. 2 は開館時間の長さが長い順に上から並べたものです。以上より本学の附属図書館の開館時間は他大学に比べて、平日は約 1-2 時間、休日は約 2-5 時間短いことが分かります。現在、本学では試験期間およびその前一周間は開館時間の延長が行われています。しかし、試験期間のみではなく、授業期間中や長期休暇中も図書館を利用して学習を行いたいという学生が多くなります。

最後に、情報図書館課の方々とのキャンパスミーティングで、開館時間の延長について伺ったことをまとめます。

Q1. 図書館利用規則の開館時間はどのように決められましたか。

A1. 授業開始の時間を配慮して、15分前から開館しています。開館が早い大学は、委託職員や学生アルバイトを使っています。20年以上前は9時に開館していました。勤務開始が8時30分なので、準備時間15分を考えると45分開館が妥当と考えております。平日の開館時間が9:00開館から8:45開館に変更(延長)したのは平成14(2002)年10月からです。

各大学付属図書館の開館時間(休日)

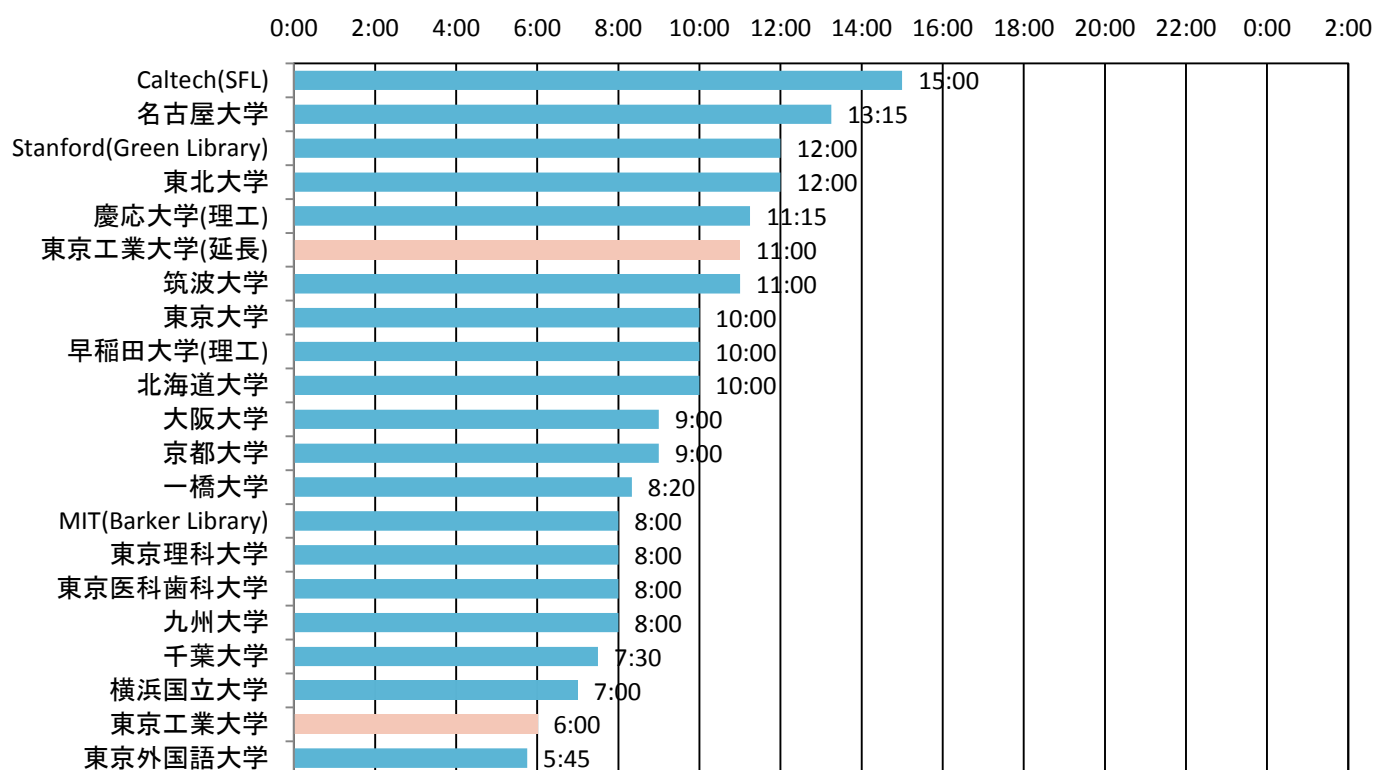


図 5. 2. 2 各大学図書館の開館時間(休日)

Q2. 開館時間が中途半端なので、早めることはできませんでしょうか。

A2. 開始時間を早めることについては、午前9時までの在館者状況を鑑み、現行の開館時間での運用を考えています。

Q3. 世界トップ10の大学を目指すのに、他大に比べて開館時間が短いことをどう考えていますか。

A3. 他大学においては、それぞれの大学の事情に鑑み時間設定されているのかと存じます(同一キャンパス内に中央図書館と各学部・分野の図書館室の存在等。海外の場合はキャンパス内でタウン形成され、公共機関での通学が発生しない等)。本学の場合、他大学と比較すると確かに短い点は否めませんが、どのような開館時間設定が適切か検討しています。後述の平成25年度の試行及び平成26年度の試行も、大学全体の限られた予算の中で実施しています。平成27年度も試行を実施予定です。

Q4. 平成25年度10月より行われた、土日祝日の延長開館(3時間延長:17:00閉館から20:00閉館に)の試行の結果はどうなりましたか。

A4. 入館者数の増加につながり、17:00以降の在館者数を見る限り一定の利用がございましたが、試験期間前1か月の延長時間帯の在館者が多いこともあり、今年度は1月の延長開館を実施しました。快適な学習・調査環境の提供を担う図書館としてはできる限り開館時間を増加する方向で検討しています。なお、延長開館しても時間帯により在館者が二桁程度(学習棟は一桁)という状況があります。図書館としても沢山の学生に使っていただくことを願っています。

5. 施設関連

Q5. 地上自習スペース(通称:チーズケーキ)だけでも延長することは構造上可能でしょうか。

A5. 管理上可能にするために下記の課題 があり、すぐには対応できません。

1. 閉館時の消灯
2. 緊急時の臨時放送
3. 開館時の空調
4. 閉館時の施錠
5. 閉館時の利用者への退出要請 など

また、図書館に寄せられている開館時間延長の要望には「資料を利用できる機会の拡大」もあり、必ずしも自習スペースの確保だけが利用者の要望である、とは捉えていません。現実には夜間のチーズケーキ利用者は必ずしも多くはありません。

以前の調査との比較

開館時間の延長に関する要望が 2010 年は 63 件、2012 年は 65 件と今回変化はありませんでした。2013 年度 10 月より、土日祝日の延長開館(3 時間延長:17:00 閉館から 20:00 閉館に)の試行が行われました。本年度は試行ではなくなるように、予算要求がされています。しかし、需要なども考慮すると実際に実施されるかどうかは未定とのことです。

提言

三島学長の掲げる、「東工大を世界トップ 10 のリサーチユニバーシティ」にするためには、学習施設も他大学に比べて充実しているべきと考えます。開館時間が他大学に比べて短い現状を踏まえて、平日・休日ともに図書館の開館時間を延長することを提言します。より具体的には、クォーター制になるに連れて、中間・期末試験が 2 倍に増えると考えられるため、クォーター制の中間・期末の時期(中間期末試験の 10 日前ほど)に 8:45~23:00 に開館するよう、提言します。

学生の意見

冷暖房の調整に関する意見が 71 件寄せられました。

- 冷暖房の調節ができてない。
- 地下図書館は暑く、地上自習スペースはかなり寒いという状況が頻繁に見られた。
- 空調が効きすぎなときと、効かなすぎのときがあります。
- 地下と地上で温度を変えて利用者毎に分かれられるようにしてほしい。

現状分析

情報図書館課の方々とのキャンパスミーティングで伺ったことをまとめます。

Q1. どこが暑いか寒いか、図書館職員は把握していますか。

A1. 地上階の階段付近が一番暑いが、体感温度には個人差があります。空調システムのセンサーで見ることができます。

Q2. 温度計を増やすことはできるのか？

A2. 可能ですが、設置にはコンクリートに打ち付ける必要があるので簡単に増やせるわけではありません。

2012 年度のキャンパスミーティングで温度のムラの改善をお願いしたところ、「館内は設計上空気が循環するつくりになっており、個人からの要求も受け付けますが、館内全体の管理になっているため困難です。」とのことでした。そこで、以下の質問をしました。

Q3. 回路を変えて、温度管理を館内全館から各階にすることはできないでしょうか。

A3. 各階ごとの温度管理は可能ですが、特に 2,3 階の室温は外気温に左右されやすいため、自動での管理は難しいです。温度計をこまめにチェックしたり現地に行くなどして調節はしています。

Q4. 断熱フィルムや扇風機・ストーブなどによる細かい温度調節はできないでしょうか。

A4. 地上階の窓ガラスなど断熱効果もあるもので、温度調整も考えて設計されています。2014 年夏に、扇風機を導入する試行をしています。

以前の調査との比較

2012 年度調査同様、冷暖房に対する不満が多数寄せられました。自由記述において 71 件冷暖房に関する不満が寄せられたので、実際には、その何倍もの学生が不満を感じていると考えられます。

提言

図書館内の温度は学習に直接影響します。しかし、全館共通の温度管理システムでは、館内にいるすべての人が満足する温度に調節することは難しいという現状です。そこで、断熱フィルムや扇風機・ストーブなどにより各階ごとの細かい温度調節をするなど、温度調整に対策を施すことを提言します。

学生の意見

蔵書に関する意見が 84 件寄せられました。

- 人文系、経営、文学、心理学、教育、教養書、新書など、理工系以外の蔵書数が少ない。(同意見 24 件)
- 小説を増やして。(同意見 14 件)
- 専門書が古いものばかりであることを改善してほしい。(同意見 11 件)
- 蔵書を増やしてほしい。(同意見 11 件)
- 電子ジャーナルを広げて。(同意見 10 件)
- 英文の本が少ない。(同意見 6 件)
- 新分野の本が足りない。(同意見 4 件)
- 教科書を複数置いて。(同意見 2 件)
- 新聞データベースを朝日以外も置いてほしい。(同意見 2 件)

現状分析

図 5.2.3 と図 5.2.4 は、図書館に充実してほしい資料について調査した結果をグラフ化したものです。専門書、参考書、一般教養書の充実を望む声が多いです。自由記述では、人文系や小説などの理工系以外の蔵書の拡充を望む声が多いです。大学院生は、学部生に比べてデータベース、電子ブック、電子ジャーナルの充実を望む声が多いです。

附属図書館に充実してほしい資料(3つ複数選択可)

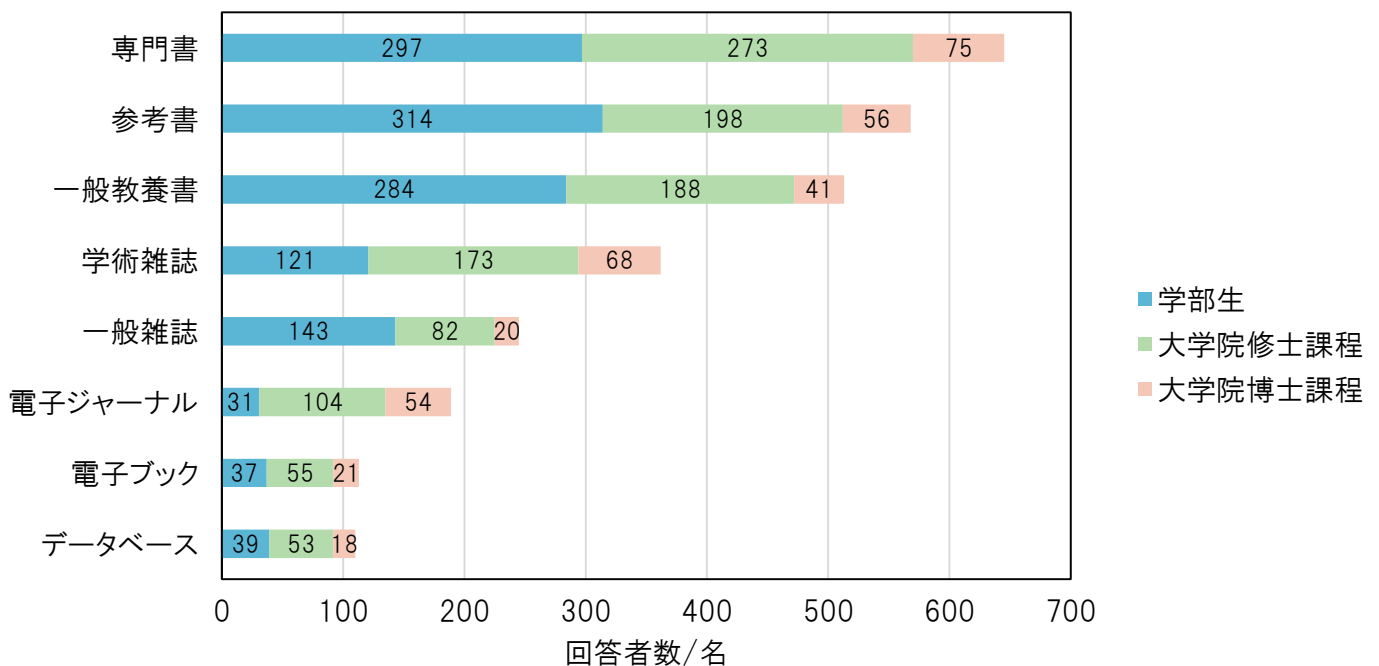


図 5.2.3 附属図書館に充実してほしい資料

附属図書館に充実してほしい資料(3つ複数選択可)

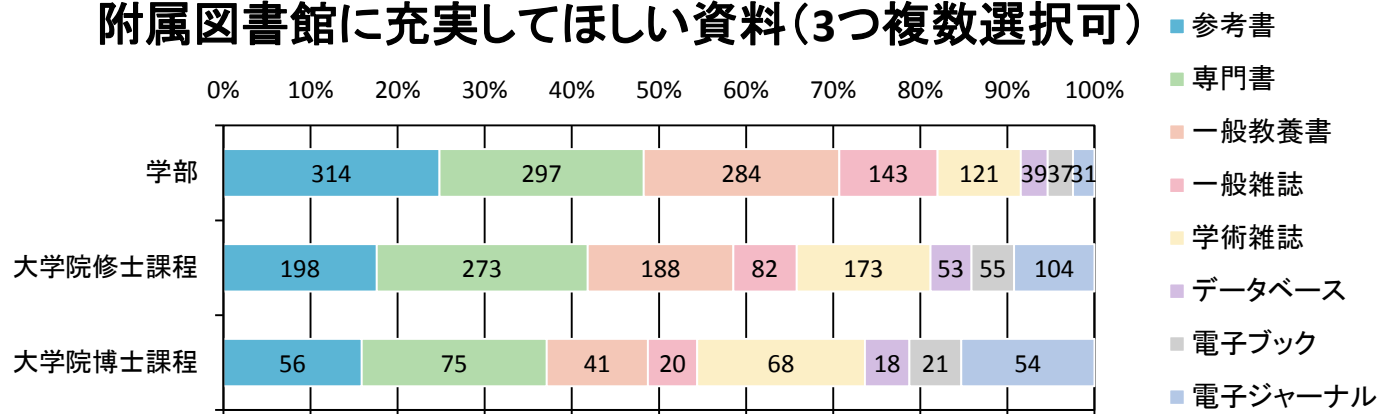


図 5. 2. 4 附属図書館に充実してほしい資料

図書館のキャンパスミーティングで伺ったことをまとめます。

Q1. 図書館の年間の財源、使い方について教えてください。

A1. 大雑把には資料費と維持費で年間 6 億円近くとなります。詳しく見ていくと、図書費は和洋の区別なく合計で 3000 万円です。雑誌費は、和雑誌 700 万円、洋雑誌 5 億 4000 万円となります。雑誌(電子ジャーナル)だけで、5 億円以上使われています。また、今年度は臨時として、リベラルアーツ図書や留学生用図書として約 1,500 万円ほどの財源がありました。電子ジャーナル等の資料費が増えた場合は、各部局(先生方の研究費)に負担を負担をお願いします。

理工系以外の本が少ないという意見が多かったので、蔵書の割合と年間の受入数について伺いました。

Q2. どういった本を購入していますか。理工系と人文系の蔵書の割合はどれくらいでしょうか。

A2. 蔵書の分類別統計は通常出しておりませんが、別途同類の問い合わせに伴い 2011 年度についてだした数値を掲載いたします。(下に頂いた数値をもとにしたグラフがあります。)新書・文庫のコーナーなどを除く「一般開架」エリアの図書について試算したものになっています。図書に限定すれば、これら一般開架に配架する図書以外に、同じ B1F にエリア別に

- 「東工大卒業生の本」文庫
- 「東工大先生の本」文庫
- 語学資料
- 文庫、新書(岩波文庫、岩波新書等)

があります。また、ここ数年洋書の専門書を中心に、冊子から電子へのシフトを行い、電子書籍(Eブック)の拡充にも着手しております(Elsevier, Wiley, Cambridge University Press などの専門書、レファレンス資料など)。また、本年度はリベラルアーツセンターの協力も仰ぎつつ、人文社会系を中心とした定番の教養書を集中して整備し、B1F に「リベラルアーツ資料」エリアを開設予定です。

図 5. 2. 5 は 2011 年度の蔵書数、図 5. 2. 6 は 2011 年度の受入数について分類別の割合をグラフ化したものです。すずかけ台の附属図書館は理工系以外の蔵書が少なく感じられますが、大岡山の附属図書館は理工系以外の蔵書が 4 割以上を占め、5 割以上受け入れています。本大学が理工系単科大学であることから、理工系以外の蔵書の割合は適切であると思われます。

5. 施設関連

分野ごとの割合・蔵書数(キャンパス別)

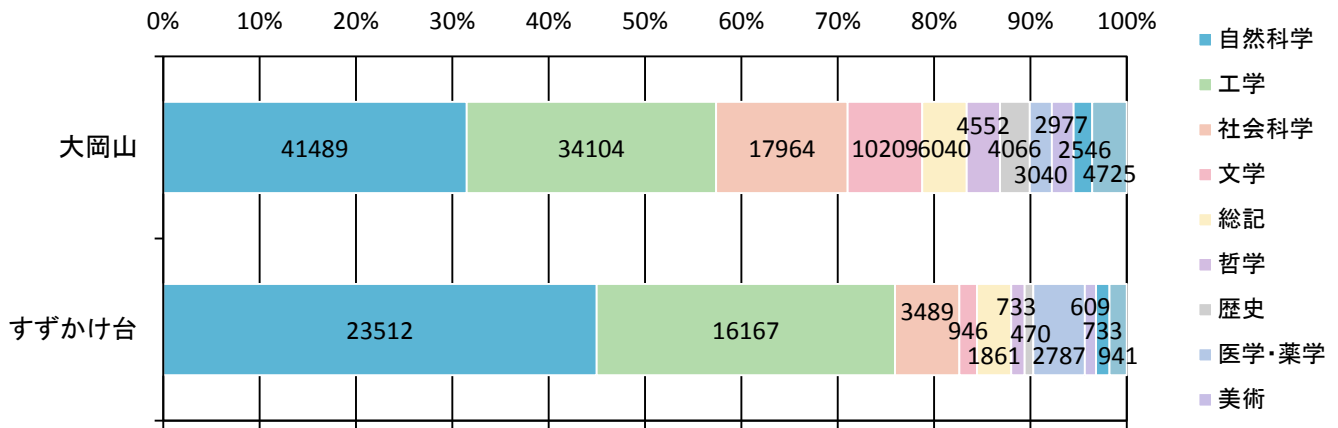


図 5. 2. 5 分野ごとの割合・蔵書数(新書・文庫のコーナーを除く「一般開架」エリアの 2011 年度時点の蔵書数)

分野ごとの割合・受入数(キャンパス別)

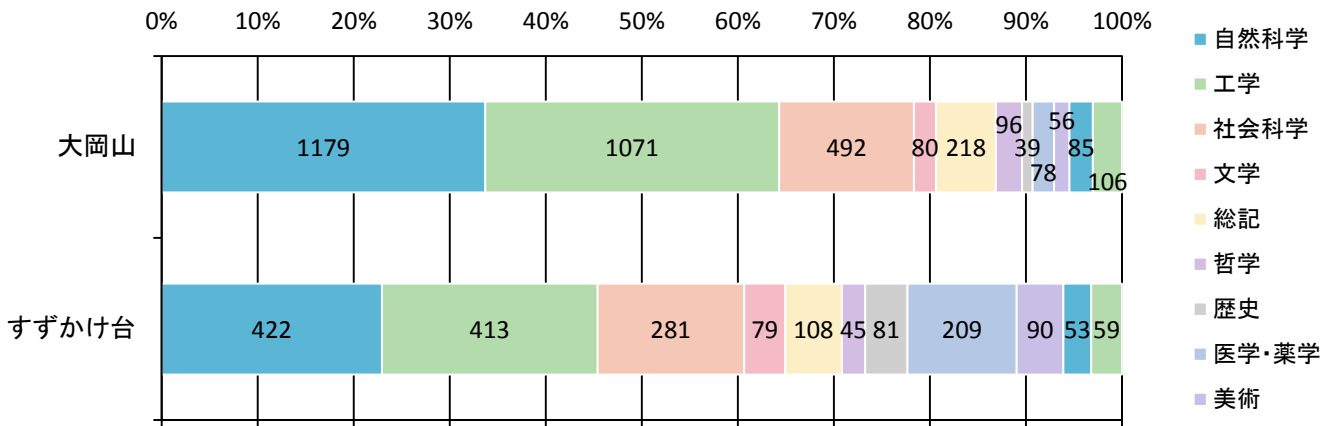


図 5. 2. 6 分野ごとの割合・受入数(新書・文庫のコーナーを除く「一般開架」エリアの 2011 年度の受入数)

Q3. 現在の本の購入方法を具体的に教えてください。

A3. リクエスト、教員選書(授業関連図書、学生用図書)、館内選書がございます。また、資料の寄贈については内外問わず受け付けています。

Q4. 購入する本の選定基準を教えてください。

A4. およそ以下の通りになります。

図書館における資料は、学生の教育内容及びカリキュラム等との関連を考慮して次の目標のもとに選定を行う。

- i. 本学の授業科目がある学問分野については、授業との連携をとりつつ、教育効果を最大限に高めることを目標として、その分野の基礎的及び専門的知識を修得するために必要な資料を備える。
- ii. 本学に授業科目がない学問分野については、基礎的資料を精選して提供する。
- iii. 一般教養の修得及び人格形成に必要な基礎的資料を精選して提供する。

このような趣旨のもとに、図書館の蔵書として長期にわたり利用されるものを収集しております。また、リクエストいただく図書については以下のような資料は対象としていません。

①児童書、コミック本②趣味・実用書③娯楽的図書④専ら特定の団体あるいは個人の宣伝等を目的とするもの⑤価格が低廉で個人で購入するのが適当と思われるもの⑥狭い主題の特殊なもの⑦図書館の図書費購入で対応できない高価なもの
理工系単科大学であるが故に、理工系分野の学習書・専門書を優先して収集しているため、一般書はどうしても少ない量になってしまいます。

Q5. 学生からのリクエストにどれほど対応していますか。

A5. 平成 26 年度中の受付件数は 422 件、13 件は謝絶(所蔵済み、利用可能な電子コンテンツがある、価格が低廉、趣味・実用書等)しています。平成 25 年度中のリクエスト受入数は 463 冊(図書受入数(購入数)6,534 冊中)です。

以上より、ほとんどの場合のリクエストは受け入れられています。

Q6. 電子ジャーナルの選定基準・利用数・専攻別データを教えてください。

A6. 電子ジャーナル等、外国雑誌の選定においては図書館委員会にて決定しております(ただし、外国雑誌センター館タイトルは除く)。現在、電子ジャーナル等の電子資料の整備については図書館委員会の下に設置された電子ジャーナル等専門委員会にて検討をしております。利用数等について専攻別データは持ち合わせておりません(出版社から提供される利用数は COUNTER という基準に準拠したものであり、その数値は IP アドレス等のアクセス元を特定する情報まで含んでおりません)。研究科ごとの意見も聞きながら、利用も多く分野の偏りのない(人文社会系もバランスよく含めた)コレクション構成を維持するようにしています。

Q7. 本の人気等により本の数を変えるなど対応していますか。

A7. 授業関連図書など、受講対象者数や利用数の多い図書については複数冊おくことはあるが、公共図書館と役割が異なるので、利用されるものだけ単純に複数冊おくようなことはしていません。(ベストセラー本等)

Q8. 留学生にどれほど対応していますか。

A8. B1F に語学用図書コーナーを設けて語学学修資料、留学生用資料を約 1,300 冊配架しております。また、本年度は外国語研究教育センターの協力も仰ぎつつ、語学学修用、留学生用資料などを集中して受入し、B2F に「語学・留学用資料」のエリアを開設予定です。

以前の調査との比較

前回と大きな変化はなく、理工系蔵書の拡充を求める声が一番多く、次に文系蔵書を求める声が続きます

提言

図書館には今まで通り、研究支援のための学術雑誌を中心とした学術情報を優先して整備していく役割を担っていただくことをお願いします。

大学図書館には大学図書館の、公共図書館には公共図書館のそれぞれの役割があるため、ひとつの図書館で利用者全てのニーズをカバーするのは不可能であると考えられます。そのため、学生側には一般書、ベストセラー、小説等の本は最寄りの公共図書館も含め使い分けて活用していただくことを提言します。また、図書館はほとんどの場合でリクエストに対応しているので、必要な本は積極的にリクエストをすることを提言します。図書館には、一般書、ベストセラー等の図書があるということをより宣伝するようにお願いします。

学生の意見

- 返却ボックスをキャンパス内各地に設置してほしい。（同意見 2 件）
- 書籍を研究室まで配送してほしい。（同意見 3 件）

現状分析

図書館は、大岡山南地区や石川台地区、緑ヶ丘地区にある研究室から離れた場所にあるので、返却ボックスなどがあれば便利であるとの意見がでています。

図書館とのキャンパスミーティングで伺ったことをまとめます。

Q1. 学内便やポストでの返却は可能でしょうか。

A1. 学内便が一番簡単ですが、ヒューマンエラーが防ぎきれないです。返却日の処理が難しいです。田町では設置されていますが、窓口が開いている時間のみ対応可能です。ブックポストも 1 台 30~40 万円と高価です。石川台や緑ヶ丘に設置するにしても、管理してくれる事務室が見つかるかどうか不明です。回収の労力も大変です。

以前の調査との比較

2012 年にすずかけ台図書館の返却に関して、すずかけ門近くのポスト設置案が出ましたが、管理や実際の返却と返却処理がずれるなどの理由から難しいとのことでした。

提言

管理の問題や利用状況が分からないため、いきなり正式に導入することは難しいと思います。そこで、返却ボックスを石川台地区と緑ヶ丘地区に仮設置することによる試行を提言します。

学生の意見

電波に関する意見が合計 5 件寄せられました。

- 地下の電波がつながりにくい。

現状分析

図書館は厚いコンクリートの壁で作られ地下にあるため、一部窓の近くなどを除いて、携帯電話の電波が通りにくくなっています。しかし、震災で本に生き埋めにされた場合などに外部と連絡が取れない現状となっています。

図書館とのキャンパスミーティングで伺ったことをまとめます。

Q1. 緊急時の避難対応は、どのように行われているのでしょうか。

A1. 館内に複数職員が巡回し、利用者全員が避難することを確認します。夜間帯も同様です。

なお、大岡山の場合、必ずしも電話ができないわけではなく、館内に携帯電話の通話が可能なスペースを設けています(地下 2 階リフレッシュルーム)。

※携帯電話大手 3 社(NTT-docomo, au, Softbank) の電波状況:

地下 2 階洋雑誌のコーナーを除き、地下 1 階・地下 2 階は現在届いている(Foma, 3G で調査)

以前の調査との比較

2012 年も同様の意見が寄せられましたが、図書館は電話をする場所ではないので、現状を維持しているようです。

提言

現状では 3G が使えるとは言い切れない状況なので、再調査を提言します。さらに、震災に備えて、地下でも電波が届くようにするルーターを設置するなどして、電波状況の改善を提言します。

学生側には、図書館は電話をする場所ではないという認識を持ち、マナーを守って図書館を利用することを提言します。

5.3. 生協

5 施設

3 生協

提言 5-20

ヘルシーメニューの充実

学生の意見

- 野菜を増やしてください。
- 野菜を安く摂れるようにしてほしい。
- 塩分、脂肪分等が多いメニューばかりなのでそれらを控えたメニューを出して、それをアナウンスしてほしい。

(同意見 9 件)

現状分析

図 5.3.1 は、学生の食堂への要望を調査した結果です。メニューの価格や種類についての要望が多く、次いで健康志向やボリューム重視のメニューを求める声が多く挙がりました。メニューの価格や種類については後述し、ここでは 3, 4, 5 番目に多い意見に焦点を絞ります。食堂利用回数別に、学生の要望のあるメニューがどのような傾向になるのかを分析した結果、次ページの図 5.3.2 と図 5.3.3 のようになりました。

食堂のメニューへの要望

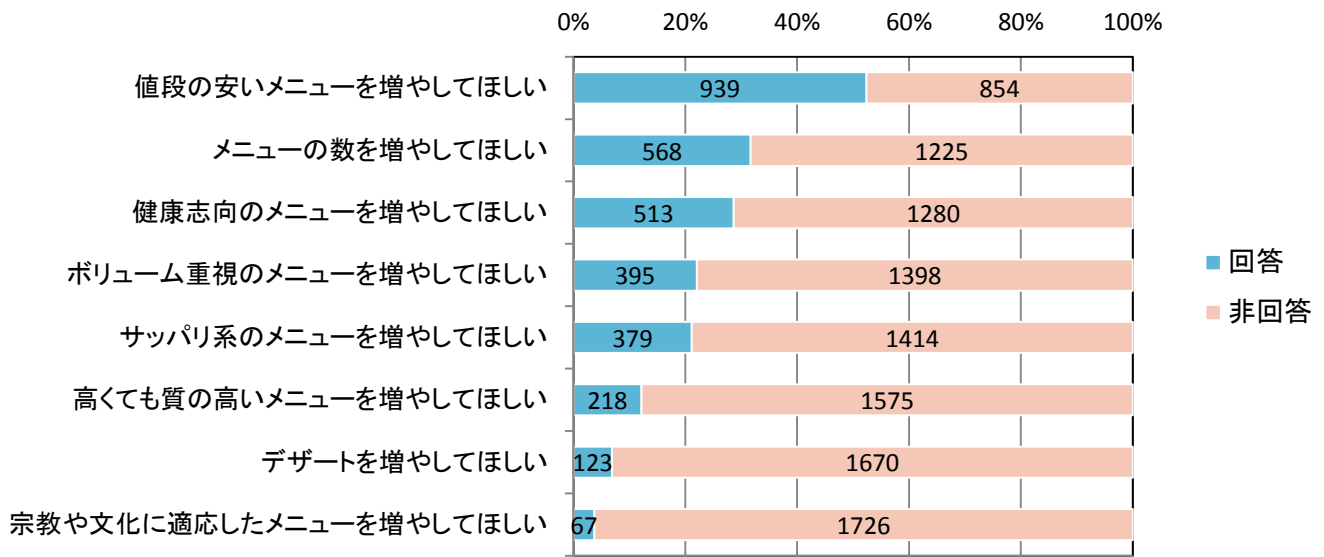


図 5.3.1 食堂のメニューへの要望

1週間の食堂利用回数×健康志向のメニューを増やしてほしい

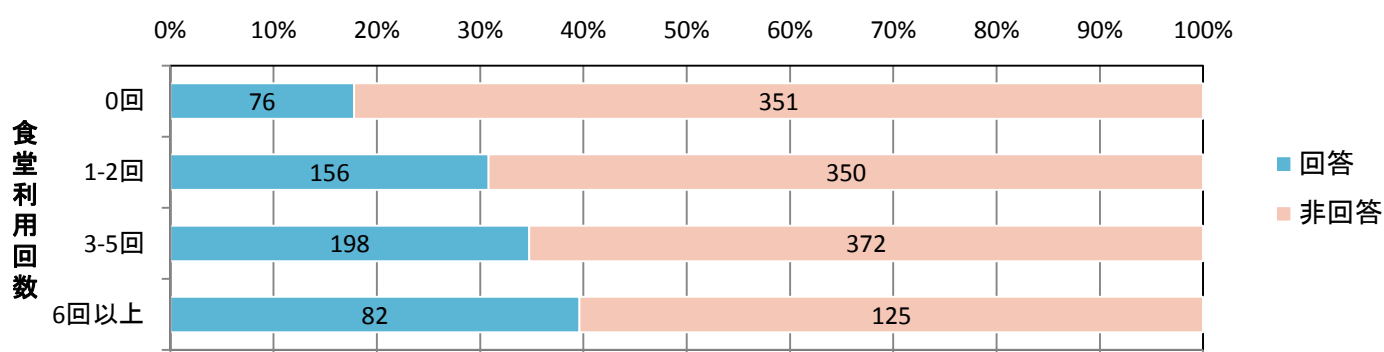


図 5. 3. 2 一週間の食堂利用回数別、健康志向のメニューの需要

食堂利用回数が多いほど、健康志向の傾向があり(図 5. 3. 2)、その一方、食堂利用回数が多いほど、ボリュームのあるメニューを重視しない傾向にあります(図 5. 3. 3)。これは、食堂のメニューが脂っぽいと感じる学生が多いためと考えられます。このため、健康志向とボリューム、どちらのメニューにも需要があるものの、利用回数の多い学生を優先すると、健康志向のメニューの方がより需要が高いと考えられます。食堂のメニュー数を増やしてほしいという意見も安価なメニューを望む意見に次いで多いため、既存のメニューに加えて新たな健康志向のメニューが求められていると言えます。

東工大生協本部の方々とのキャンパスミーティングで、これらのアンケート結果について伺ったことを掲載します。

Q1. 健康志向のメニュー、サッパリしたメニューの種類を増やすことはできますか。

A1. 現在はボリューム重視と健康重視メニューを重点的に提供しています。2、3年前から根菜、緑黄色野菜を180円の小皿で販売しています。1つのどんぶりに多くの野菜が含まれるようなメニューは値段が高くなってしまったため販売していません。1品あたりが安い副菜メニューとして販売することによって多くのニーズに対応できるようにしています。

Q2. 食堂のメニュー価格を下げることは可能ですか。

A2. 昨年度の生協経営は収支±0であり今後収益が減少するとの予想から、これ以上の値下げは困難な状況にあります。

Q3. 食堂のメニューの種類を増やすことは可能ですか。

A3. 東工大生協は他大学よりメニューの種類が多く努力していますが、これ以上増やすのは困難です。

1週間の食堂利用回数×ボリューム重視のメニューを増やしてほしい

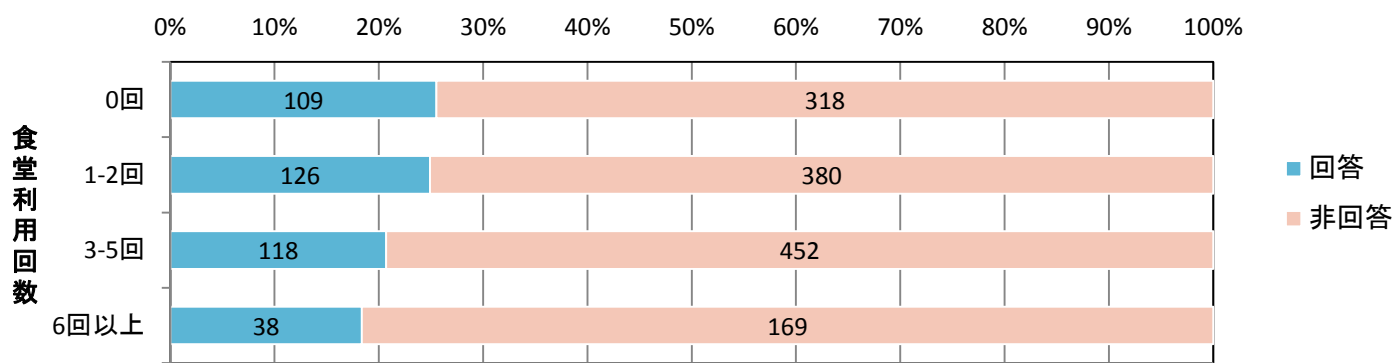


図 5. 3. 3 一週間の食堂利用回数別、ボリューム重視のメニューの需要

5. 施設関連

以前の調査との比較

図 5. 3. 4 と図 5. 3. 5 は健康重視、ボリューム重視メニューに対する年度ごとのアンケート結果をグラフにしたものです。メニューアンケート結果と同様、以前の調査においても、ボリューム重視メニューより健康志向メニューの需要の方が少々多い傾向にあります。

健康志向メニューを望む声は 2012 年の調査の 30%から 2014 年の 28.6%に減少しました(図 5. 3. 4)。一方、ボリューム重視のメニューを望む声も 2012 年の調査結果よりも減少しています(図 5. 3. 5)。生協の努力により、わずかではありますが改善されつつある状況だと判断できます。

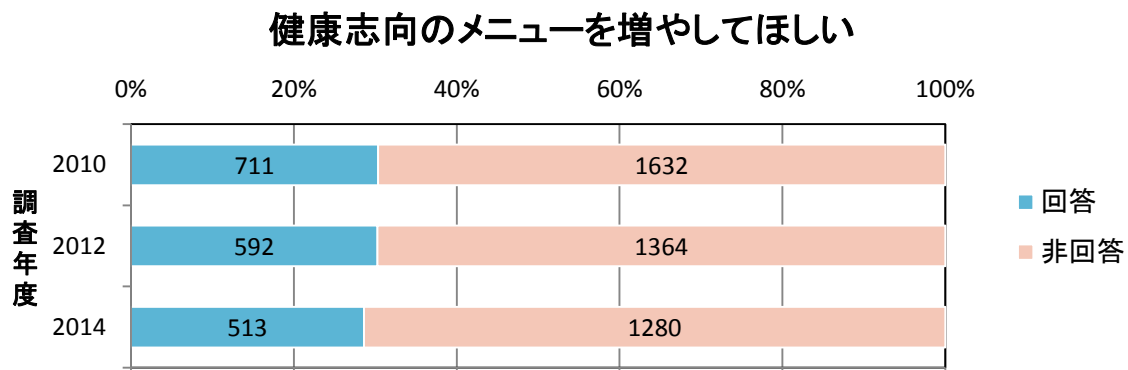


図 5. 3. 4 調査年度別健康志向のメニューの需要

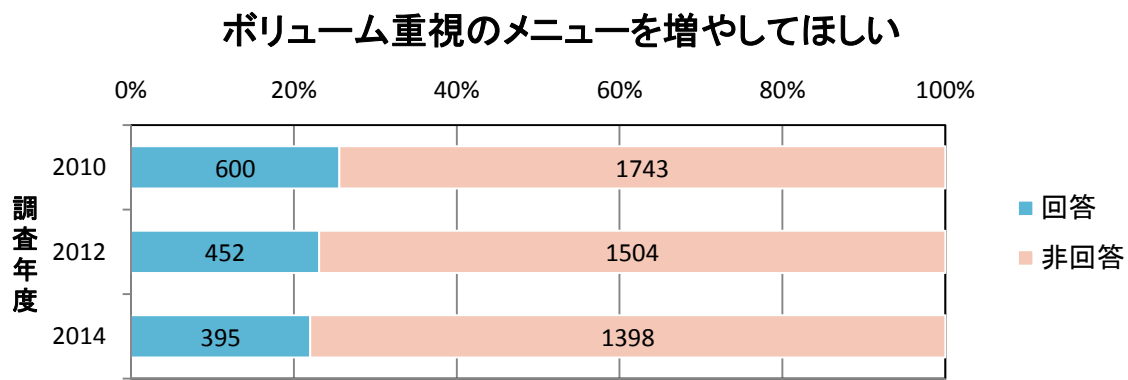


図 5. 3. 5 調査年度別ボリューム重視メニューの需要

提言

多くの学生が求めている安価なメニューの導入や健康志向の新たなメニューの導入は困難であると言えます。生協食堂では野菜が含まれるメニューは小皿で販売し、さまざまなニーズに対応できるようにしています。しかし、小皿メニューはショーケースに置かれる場合が多く、学生の目に入りづらい状況が続いています。学生がこれらのメニューをとりやすいようレジ周りのショーケースのレイアウトを見直すとともに、張り紙などを用いてこれらのメニューの情報を得られやすいようにすることを提言します。

学生の意見

アレルギーの表示に関する意見が2件ほど寄せられました。

- アレルギー成分の表示をしてほしい。
- 期間限定メニューでアレルギー情報がサイトにもないことがあるので改善してほしいです。

現状分析

平成24年度食品表示に関する試験検査「即時型食物アレルギーによる健康被害、及びアレルギー物質を含む食品に関する試験検査」(参考文献参照)によると、18歳以上で食物アレルギーを持つ人の割合は5.4%といわれています。現在、生協食堂では定番のメニューに関してはアレルギー表示もあり、生協のWebサイトにも掲載されていますが、期間限定メニューに関しては十分な表示が少なく対応が求められています。

※参考文献：http://www.cao.go.jp/consumer/history/02/kabusoshiki/syokuhinhyouji/doc/130530_shiryou4.pdf

東工大生協本部とのキャンパスミーティングで食物アレルギーに関する対応について伺ったことを掲載します。

Q1. すべてのメニューに対してアレルギーに関する細かい対応をすることはできますか。

A1. Webに掲載されていないメニューに対しても学生からの質問があればデータを確認し細かくアレルギー物質の有無を答えることは可能です。

Q2. すべてのメニューにアレルギー成分の表示をすることはできますか。

A2. 値札が小さいものは内容をわかりやすくするため書いていません。ポスターについてはアレルギー成分の表示に加え、留学生向けの英語の表記などが十分であるかについても3月にチェックする予定です。

以前の調査との比較

なし

提言

期間限定メニューに対しても定番メニューと同様にアレルギー情報が得られるよう提示することを提言します。

学生の意見

生協の弁当に対しては様々な意見が寄せられました。

- 野菜が足りない。 (同意見 7 件)
- 女子向けに少量のお弁当が欲しい。 (同意見 5 件)
- とにかく美味しくして欲しい。 (同意見 4 件)
- 揚げ物ばかりしかない。 (同意見 3 件)
- おかずだけの小さいパックがあるとありがたい。 (同意見 2 件)
- 保温をしっかりしてほしい。
- 大盛りがなくなってから買うのをやめた。
- 学食パスに対応してほしい。

現状分析

現在生協では食堂での食事の提供のほかに、大岡山南地区、石川台地区、緑ヶ丘地区、1食、2食の5か所で弁当の販売を行なっています。図 5.3.6 は弁当のメニューと食堂のメニューの質に対するアンケートの結果です。食堂に比べ弁当のメニューに関しては質の改善を求める声が多く挙がる結果となりました。図 5.3.7 は学生の弁当への要望を調査した結果です。食堂のメニューに対するアンケートで回答者が多かったメニュー数の充実を望む声は(図 5.3.5)、弁当に対しては少ない結果となりました。このため、弁当販売に関してはメニュー数の充実より弁当の内容と質の改善がより重要であると言えます。図 5.3.7 の弁当のメニューに対する要望のうち、より多くの学生が求めているものは、安価なメニュー、健康志向のメニュー、おかずとごはんが分かれたメニュー、となっています。なお、食堂のメニューに対するアンケート結果(図 5.3.5)に比べて、弁当のメニューに対するアンケート結果(図 5.3.7)は全体的に非回答者が多い結果となりましたが、この傾向は図 5.3.6 をはじめ弁当に関するアンケート全般に見られる傾向のため、弁当購入者が食堂利用者に比べて少ないことによると考えられます。

東工大生協とのキャンパスミーティングでこれらのアンケート結果について伺ったことを以下に掲載します。

Q1. 野菜を使った弁当メニューを導入することはできますか。

A1. お弁当に野菜入れにくい理由として、食中毒予防の点からカット野菜が入られないことにあります。キャベツのボイルなど火を通した炒め物は可能です。また、2食ではテイクアウトができるので、食堂の野菜メニューをテイクアウトも可能です。

食堂と弁当の質

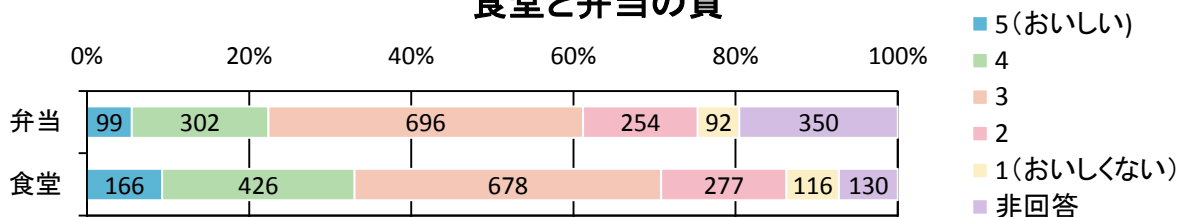


図 5.3.6 食堂と弁当の満足度の比較

弁当のメニューに対する要望

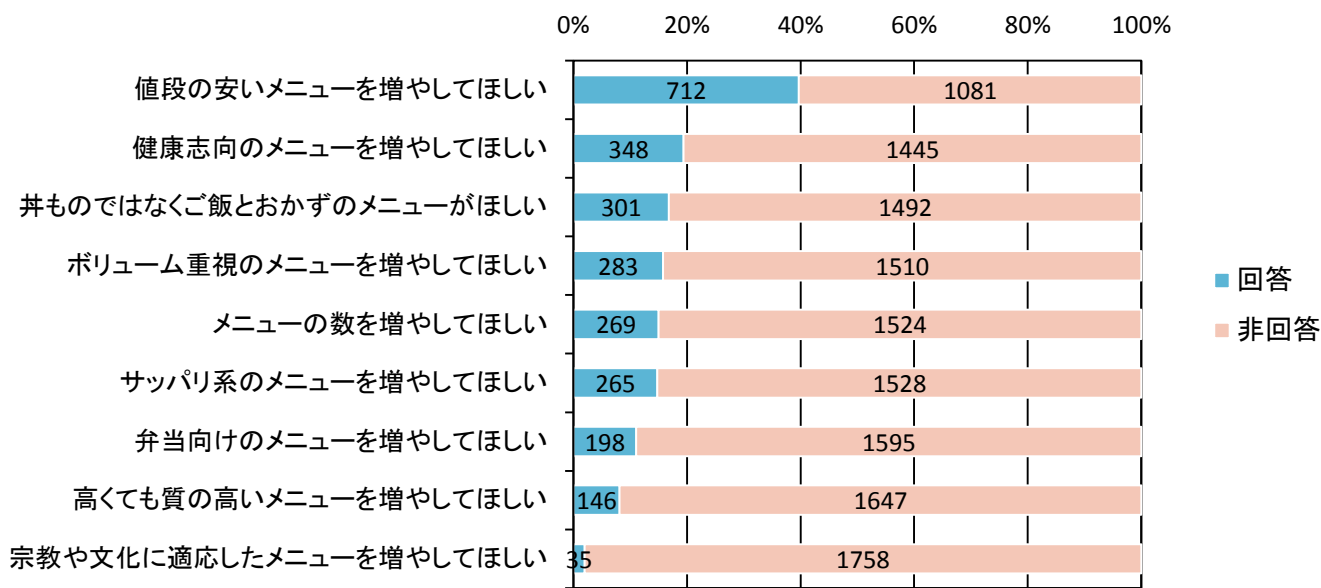


図 5. 3. 7 弁当のメニューに対する要望

Q2. 丼ものではなく、おかずとごはんが分かれた幕の内弁当を販売することはできないですか。

A2. 東工大生協では販売したことがないですが、ニーズも多いので検討します。

Q3. おかずやサラダを小さいパックに入れて販売することはできますか。

A3. 以前から検討しています。近く販売できるよう努力します。

Q4. お弁当を暖かいまま販売することは可能ですか。

A4. 保温されたまま販売することは難しいです。各販売所にレンジを置くことも考えてはいますが、電気についてなど大学との話し合いが必要です。

Q5. なぜ大盛り弁当は販売中止となったのですか。

A5. 以前は販売していましたが、売れ行きが不調だったため販売中止にしました。現在は大盛りを販売しない分、以前よりメニューの種類を増やして販売しています。

以前の調査との比較

なし

提言

弁当に向けた、冷めてもおいしいメニューや、食中毒のリスクが少ない加熱した野菜を用いた新たなメニューを開発することを提言します。また、おかずやサラダなどの小さなパックでの販売や、幕の内弁当の販売など、新しい形の弁当を販売することを提言します。

学生の意見

ハラルメニューに関する意見が 44 件寄せられました。

- more halal items please
- Want more variety in the halal menu
- want HALAL food as bento

現状分析

現在、生協食堂では週替わりで 2 品、5～6 種類のハラルメニューを販売していますが、ハラルに対応した弁当の販売は行っていません。図 5.3.8 は一週間に食堂を利用する回数を留学生と日本人学生で比較したものです。留学生は日本人学生に比べ食堂で食事をとる割合が高いことがわかります。すべての留学生がハラルメニューを求めているというわけではありませんが、食堂利用回数が多い留学生にとってハラルメニューの品揃えは重要です。また、ハラルメニューは学外ではほとんど販売されておらず、生協食堂での充実が望まれています。

東工大生協とのキャンパスミーティングでハラルメニューについて伺ったことを掲載します。

Q1. ハラルメニューの種類を充実させることはできますか。

A1. 11 月にハラルメニューの種類を増やしたので、しばらくは様子を見たいと思います。

Q2. ハラルメニューを弁当に導入することはできますか。

A2. 弁当は難しいですが、2 食でテイクアウトの対応をすることは可能です。

留学生 × 1週間の食堂利用回数

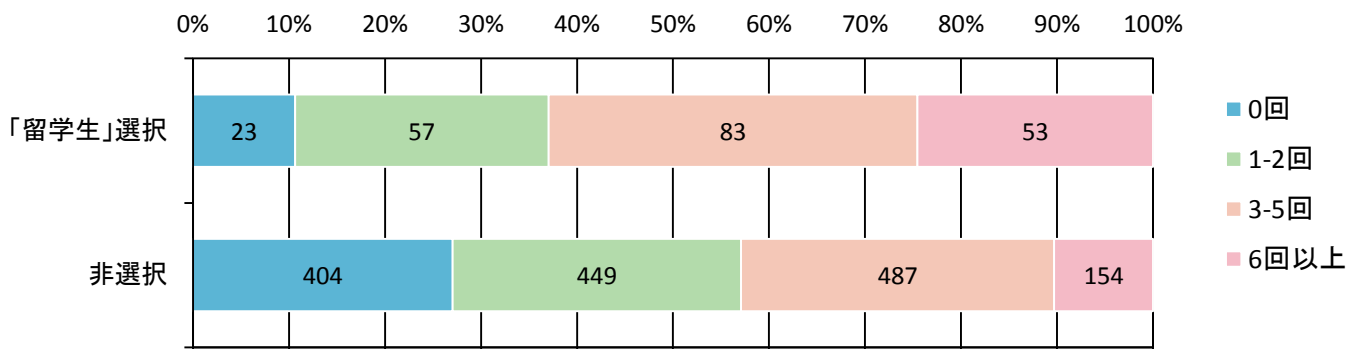


図 5.3.8 留学生と日本人学生の 1 週間に食堂を利用する回数の比較

以前の調査との比較

2012年に比べハラルメニューを導入している大学生協が増えており、ハラルメニューが徐々に日本の大学に浸透し始めています。図5.3.9は2012年&2014年の学勢調査でのハラルメニューの充実を求める留学生の割合をグラフにしたものです。2014年のデータについては2014年学勢調査後に食堂でのハラルメニューの補強が実施されたため、現在のサービスを正しく反映した結果ではありませんが、参考として掲載します。日本の大学で学ぶ留学生の人数は年々増加しており今後も増えていくだろうと予想されます。グローバルな大学を目指す東工大にハラルメニューのさらなる拡充は不可欠です。

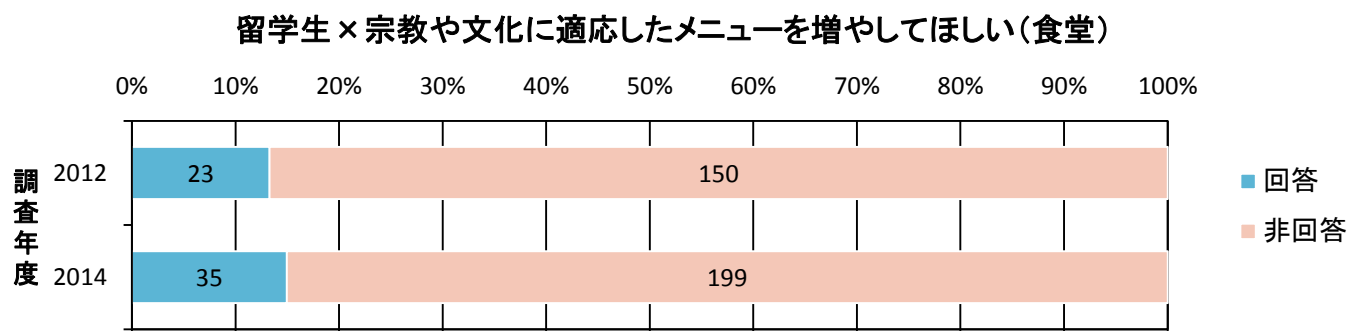


図 5. 3. 9 留学生×宗教や文化に適応した食堂メニューを増やしてほしい

提言

ハラルメニューの種類を充実させることを提言します。また、ハラルメニュー利用者を増やすことによって、ハラルメニューのコストや設備の面での障害を少しでも取り除く必要があります。そのため、食堂のメニューの1つとして食堂利用者全体がハラルメニューを気軽に購入できるような環境を作る工夫が必要です。